

函館五稜郭仮R.C. 安田幸夫君 外2名

◎外山会長 24日に会長幹事会があり、そのときに決まったことを報告します。

1. インターンティナー・ゼネラル・フォーラムが、4月19日江差に決定致しました。
2. 分担金は、今まで函館R.C.50%、東R.C.35%、北R.C.15%という具合に納めていましたが、人頭割の意見が出て、そのように決定致しました。

◎五稜郭仮R.C. 安田理事

今月24日無事発会式をすませました。多数御出席下さって、誠にありがとうございます。慣れておらず、若い者が多いものですから、今後とも御指導いただくことが多いと思いますので、よろしく御願致します。

◎幹事報告

1. 五稜郭仮R.C.の例会日は毎週金曜日12時半から、湯の川のホテル明月園です。時折メーカーキャップに御出席下さるよう御願致します。
2. 本日例会終了後、理事会を開きます。

◎ニコニコ・ボックス

福田哲郎会員 母が故郷鹿児島で今月24日無事満90歳をむかえ、益々元気です。

◎平野義勝会員

五稜郭仮R.C.の発開式について、若干御説明申し上げます。24日ホテル明月園で16時30分から登録開始し、17時渡辺特別代表の挨拶で始まり、国歌、ロータリーソング斉唱、ゲスト、ビジター紹介、経過報告が約15分の後、会員だけが別室で規約審議、役員選挙を約30分行ないました。道内では79番目にできたクラブだそうで、人員は28名、非常に若い方が多く、ヤングパワーという言葉をも盛んに使っているようでした。会長に小南武一さん、幹事に庄司正保さんが就任されたそうです。その後祝辞があり、18時38分閉会し、懇親会がありました。会費は千円で、料理は簡素でしたが、5月の伝達式には盛大にやるということでした。

次に、只今は雑誌週間ですが、ロータリーでは、1911年1月に、ザ・ロータリーアンが誕生したことから、R.I.ではこれを公式の機関誌として、米・加両国ではその購読が資格保持の条件となつています。日本では、これを読んでいないので、ロータリーの友の理解週間ということで運動を進めているようです。東ヶ崎直前会長も、このことは名文化されていないが、認めているのですから、御懸念なくということでした。ロータリーの友の読書週間については、強調していたということも是非とも御記憶下さい。

◎深瀬鴻一郎会員

風邪の話ということですが、皆さん医者は何んでもわかっていると誤解されているようで、簡単な風邪といつても、風邪と腹痛をなおせば立派な医者であるといわれるように難しい病気であります。カゼはカゼでも私の専門のヤマセカゼについて御話をします。ヤマセのときには人間はいろいろ具合が悪くなり、函館にとつて問題の風であります。ヤマセのときには絶えず東に向つている風にヤマセが逆にぶつかつて泡が立ち、海水では陽イオンがおきるのです。この陽イオンは人間の交感神経を狂わせるだけでなく、磁石にも影響するのではないかと、実は津軽海峡で二ヶ所磁石が狂うところがあるので、ヤマセが吹いたときにそうなるのではないかと、ことに気づき、中学同級の森本良平君が、東大の地震研究所長になつているので、その関係を調べてくれと手紙出したところ、電話が来て、そういうことはないということでした。

次回例会日 2月18日です。

REVIEW AND RENEW (F・コンウエイR.I.会長)
再検討し 刷新しよう



第285回例会



侯野純夫会員

本日のプログラム

“雑誌週間について”

青柳会員

◎出席報告

45.1.21 会員数 44名 出席 34名 欠席 10名
45.1.14 会員数 44名 出席 33名 欠席 11名 メーカーキャップ 9名 95.45%他
クラブ状況 函館R.C. 休み 函館東R.C. 1.13 92.82%

第284回例会記録

◎司会 外山定男会長 ◎斉唱 それでこそロータリー
◎ゲスト 函館税関長 波多江俊孝氏

◎ピジター 函館R.C. 長谷川権九郎君 外 5名 函館東R.C. 小山欽司君 外 9名
◎幹事報告

1. 室蘭R.C. 2月12日例会は、17時に変更(於、常盤)
2. 旭川R.C. 1月30日例会は、千回記念夜間例会として、18時ニユー北海ホテルに変更
3. 函館五稜郭仮R.C. 1月24日16時30分より、仮R.C. 発会式を行ないますので、多数ご出席下さい。(於 明月園、会費、登録料 その他1,000円)
4. 会費納入案内を発送しましたので、早めに納入して下さい。なお、米山奨学金が200円増額となっております。

◎卓話 函館半歳 函館税関長 波多江 俊 孝氏

“波止場並木に春風ふけば、沖でかもめが、ゆうらゆうら”の作詩でコロンビヤからレコードにもなっている波多江さんをとの紹介者のあとをうけて……文春2月号に司馬遼太郎と犬養道子さんの“城塞賽河”の対談で、日本人は建前に拘泥しないのが、所謂バイタリティーの根元になつていると云つておりますが、我々の思想は絶対でなくて相対的に物ごとを考えるというわけであります。私も庶民の格言文化を考えてみると、“鶯が鷹を生む”“瓜のつるに茄子はならない”とか“虎穴に入らずんば虎子を得ず”“君子危ふきに近よらず”と総てひとつのこと両方から云うことも相対的な考え方の例証ではないかと考える訳です。また、私は学生時代から碁をたしなんでおりますが、“好きこそ、もの上手なれ”といいますが、“下手な横好き”免許は初段を貰いましたが、実力は2・3級の腕前と申せます。私は前に道新紙上で役人らしくないとか、春風がふいている様な、とか称され、内心税関長としてどうかと恥いつておりますが、ものごとの二面性の観点から、自らを慰めている次第でございます。

当地は、以前私が在勤しました横浜と同じく安政の条約で開港、爾来110年の歴史を有している港町ですが、原因はともあれ110年の歳月は横浜は人口200万の大都市に、函館は25万の街と大きな格差を生じております。おそらく開港当時はこちらが先進地であったと思えます。両者を比較すると山手の洋館、教会、外人墓地等共通する点も多いわけですが、両市に住んでみての違う点は、横浜の場合は大震災、戦禍等もありましたが、大変カラッとしていて明るい。旧いものを情け容赦なく壊し、新しいものを造つてゆく。それに反して、当地では歴史の重みが感じられる。奈良、京都とは違うが、我々の身近かな歴史が存在している。しつとりしに情緒がある。“かげ”と“ニューアンス”があると半歳の経験から感じます。流行歌で言えば森進一君の“港はこだてとお雨”と、いしだあゆみさんの“ブルーライト・ヨコハマ”ぐらいの差を感じます。よく、若い頃は、詩、小説を読み、中年では随筆を好み、老年では歴史を愛すると言いますが、私の本棚にも購つたり著者が贈つて呉れる小説本といつしよに邪馬台国とか卑弥呼を論じた本が多い傾向になつてきており、こうした歴史的環境に住むことに喜びを感じる次第でございます。

ところで、函館税関の仕事は、本道と東北三県を抱え出先も20ヶ所を擁し、全国の三分の一を占める広大な地域を所管しておりますが、輸出入総額は年間2,000億円、全国の2%に過ぎず、実は残念に思っております。港に外国の貿易船舶が碇泊していないことも屢々あります。税関の職務は密輸の監視だけではなく大変領域が広く、一般の生活と密接な関係があり、また、文化財保護(海外流出防止)の役割等も含め70~80の法律の制約をうける貿易上の管理をしております。当地の輸出入の動きも、もつともつと増加する様に、現在、手がけられております函館広域経済圏の開発計画等にも役目を通じて、存分に協力してゆきたいと考えております。

次回例会日 2月4日です。

REVIEW AND RENEW (F・コンウエイR.I会長)

再検討し 刷新しよう

Weekly Report

例会日 毎週水曜日
12:30~13:30



Hakodate North R.C.

例会場 函館市若松町拓銀ビル7階
五島軒駅前支店
TEL 23-3870

1970. 2.25

1969~1970 第33号

第288回例会



菅原 靖 会員

本日のプログラム

“化学肥料の草創期”

大井 安麿 会員

◎出席報告

45.2.18 会員数 45名 出席 33名 欠席 12名

45.2.4 会員数 45名 出席 36名 欠席 9名 メーカーキャップ 8名 97.78%

他クラブ状況 函館R.C. 2.5 91.94% 函館東R.C. 2.10 93.33%

第287回例会記録

◎斉唱 それでこそロータリー ◎司会 外山定男会長

◎ピジター 士別R.C. 岡田小治君 酒類販売 森R.C. 谷義一君 電気工事

松前R.C. 大久保智徳君 電気工事

函館R.C. 木島茂君 外6名 函館東R.C. 金子金四郎君 外8名